

米国における対日世論調査
(有識者の部)

平成 1 7 年 8 月
外 務 省
広報文化交流部総合計画課

調査結果の概要（原則として過去6年のデータを付記。）

設問1－a：アジア地域の中でどの国が米国にとり最も重要なパートナーであるか。

回答：

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
日本	48	65	63	64	72	72	75
中国	38	24	25	23	20	20	19
ロシア	9	7	6	6	2	3	2
それら以外の国	5	3	3	3	5	4	2
アジア以外の国	0	0	1	2	0	0	1
意見なし	0	1	2	2	1	1	1

設問1－b：なぜその国を最も重要なパートナーと見なしているか（自由回答：上位5位）。

回答：

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
(1) 経済的結びつき・米国への投資	31	34	19	37	37	31	31
(2) 国のサイズ・人口の大きさ	20	13	15	16	12	11	11
(3) 強い経済力	17	22	33	30	28	24	28
(4) 同盟国・友好関係	15	20	11	8	11	11	4
(5) 良好な貿易関係	14	14	21	18	27	25	31

設問 2 - a : 日本は信頼できる友邦であると考えてるか。

回答 :	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
信頼できる	90	89	91	91	85	87	87
信頼できない	6	6	5	5	10	9	10
意見なし	4	5	4	4	5	4	3

設問 2 - b : なぜそう思うか。

回答 :	(%)						
(I) 「信頼できる」と答えた者が挙げる主な理由 (自由回答 : 上位 5 位)。	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
(1) 経済的結びつき・米国への投資	34	23	17	24	24	23	21
(2) 共通の利益・価値観	16	13	11	8	9	17	14
(2) 過去の経験、歴史	16	10	17	10	12	18	11
(4) 同盟国・友好関係	14	19	13	11	11	8	7
(5) 第二次世界大戦後の友情の証し	12	10	8	21	8	5	4
(II) 「信頼できない」と答えた者が挙げる主な理由 (自由回答 : 上位 3 位)。	(%)						
	2005	2004*	2003*	2002*	2001	2000	1999
(1) 特に理由はないが信頼できない	29	25	8	12	8	22	7
(2) 過去の出来事	21	0	8	24	3	13	5
(3) 日本は自国の利益にのみ関心がある	14	31	38	12	33	41	41
(3) 日本の経済問題・不況	14	0	8	6	--	--	--
(3) その他	14	6	23	6	22	13	18

*2002年、2003年及び2004年については本質問の対象となる人数が非常に少なかったため、数字は参考データとして記載。

設問 3-a：日本はどの程度その経済力に見合った国際的役割を果たしていると思うか。

回答：	（％）						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
経済力に見合った役割を果たしている	19	17	22	18	14	10	10
少しは果たしている	50	48	40	49	47	49	45
応分の役割を果たしていない	29	35	36	31	38	39	44
意見なし	2	0	2	2	1	2	1

設問 3-b：次のそれぞれの分野で日本は重要な国際的役割を果たしていると思うか（数値は「果たしている」と答えた者の割合）。

回答：	（％）						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
(1) 世界経済	97	91	93	94	94	95	94
(2) 科学技術	96	96	96	94	91	95	92
(3) 開発途上国援助	70	61	54	63	58	53	60
(4) 地球規模問題	69	57	59	59	48	40	44
(5) 世界政治	67	62	60	62	57	60	57
(6) 文化交流	65	60	60	58	56	51	56
(7) 安全保障	39	39	24	29	23	20	19

(注) この設問は94年より実施。「地球規模問題」は98年まで「環境問題」としていた。

設問 4：日本人と米国人は良く理解し合っていると思うか。

回答：	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
良く理解し合っている	23	22	19	17	15	8	11
普通	60	61	61	59	60	63	62
そうは思わない	17	17	18	23	25	28	27
意見なし	0	0	2	1	0	1	0

設問 5：現在の日米間の協力関係を一般的に言ってどう思うか。

回答：	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
極めて良好	19	17	16	15	9	9	3
良好	64	65	62	66	65	72	60
普通	14	15	18	15	23	17	34
良くない	1	1	1	2	1	1	2
意見なし	2	2	3	2	2	1	1

設問 6-a：日米関係は今後どのようにになると考えるか。

回答：

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	(%)
良くなる	29	30	34	36	36	35	42	
変わらない	62	59	50	55	50	59	47	
悪化する	5	7	11	6	11	4	8	
意見なし	4	4	5	3	3	2	3	

(注) この設問は1993年より実施。

設問 6-b：先端技術分野における日米間の関係は今後どのようにになると考えるか。

回答：

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	(%)
両国の協力関係が進む	49	47	50	49	39	40	41	
競争が激化し、摩擦が進む	47	48	46	45	56	54	54	
意見なし	4	5	4	6	5	6	5	

(注) この設問は1993年より実施。

設問 7：より良い日米関係のため、以下4つの方法のうちいずれが最も有効と考えるか。

回答：

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
(1) 経済・貿易関係の改善	50	53	47	63	60	69	75
(2) 環境、エイズ、人口抑制といった地球的規模の問題における協力の促進	28	26	22	15	19	12	8
(3) 政治的(安全保障を含む)関係の強化	16	15	26	17	12	10	12
(4) 文化交流の促進	6	5	4	4	6	7	4
(5) 意見なし	0	1	1	1	1	1	2

(注) この設問は1995年より実施。

設問 8：日米間の現在の貿易不均衡の主な理由はなんであると考えるか。

回答：

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
(1) 市場アクセス等日本側の問題	36	32	44	45	52	52	63
(2) 米国財政赤字、日本の内需等マクロ経済の問題	35	41	35	35	35	34	25
(3) 米国産業の競争力の問題	23	23	11	13	7	8	7
(4) 意見なし	6	3	6	6	5	4	4
(5) その他	0	1	4	1	1	0	1

設問 9：日本の安全及び極東における国際の平和と安全の維持のため米軍基地を日本国内に設置することを定めた安全保障条約は、同地域の平和及び安定に貢献していると考えるか。

回答：

	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
非常に貢献している	40	43	55	49	50	50	52
やや貢献している	40	37	28	32	33	33	35
わずかしか貢献していない	14	15	11	12	13	11	9
全く貢献していない	4	4	3	4	3	3	3
意見なし	2	1	3	3	1	3	1

設問 10：日米安全保障条約は、米国自身の安全保障にとり重要であると思うか。

回答：

	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
極めて重要である	48	46	48	54	42	46	52
ある程度重要である	34	37	36	31	40	39	34
あまり重要でない	14	13	9	8	12	10	11
全く重要でない	2	3	5	5	4	2	3
意見なし	2	1	2	2	2	3	-

設問 1 1 : 米国は現在の日米安全保障条約を維持すべきと考えるか。

回答 :	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
維持すべき	83	83	87	87	85	86	89
そうは思わない	6	9	5	7	10	6	6
意見なし	11	8	8	6	5	8	5

(注) この設問は1996年より実施。

設問 1 2 - a : 日本は防衛力を増強すべきと考えるか。

回答 :	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
増強すべき	69	66	65	64	67	65	64
そうは思わない	25	27	27	28	28	28	31
意見なし	6	7	8	8	5	7	5

設問 1 2 - b : 日本が防衛力を増強すべきとする場合の理由 (数値はその理由を肯定した者の割合)。

回答 :	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
アジアにおける平和と安定に寄与するため	97	97	96	95	96	95	96
米国と負担を分かち合うべき	94	93	96	93	94	96	97
自ら防衛すべき	91	92	89	87	88	85	85

(注) この設問は1993年より実施。

設問 1 3 : 日本についての知識及び情報はどこから得ているのか (自由回答)。

回答 :	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
(1) 新聞	89	93	95	91	94	94	95
(2) 雑誌・書籍	85	88	93	89	93	92	92
(3) テレビ	71	76	72	65	67	72	74
(4) 日本人の友人	53	51	54	56	62	61	52
(5) 学校教育	51	56	57	56	64	60	56
(6) インターネット	50	52	47	44	45	35	28
(7) ラジオ	46	47	43	45	41	46	47
(8) 友人・隣人	41	44	44	44	46	41	40
(9) 映画	30	42	39	35	38	33	36
(9) 訪日経験	30	26	39	38	42	39	38

設問 1 4 : 国際社会における日米の利害は両立すると考えるか、または対立すると考えるか。

回答 :	(%)						
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
基本的に両立する	23	26	21	20	16	15	15
時折軋轢が起こるが両立する	72	72	75	76	79	82	81
対立する	4	2	2	3	4	2	3
意見なし	1	0	2	1	1	1	1

設問 1 5 : 次の国・地域は一般的に言って米国と価値観を共有していると思うか。

回答 :

							(%)	
		共有	(非常に共有)	(ある程度共有)	少し共有	共有せず	意見なし	
英国	2005年	96	(78)	(18)	2	2	0	
	2004年	98	(86)	(12)	1	1	0	
ドイツ	2005年	92	(40)	(52)	6	2	0	
	2004年	96	(49)	(47)	3	1	0	
日本	2005年	91	(39)	(52)	8	1	0	
	2004年	95	(42)	(53)	4	1	0	
台湾	2005年	84	(32)	(52)	12	2	2	
	2004年	84	(30)	(54)	13	2	1	
フランス	2005年	76	(24)	(52)	19	4	1	
	2004年	78	(27)	(51)	16	6	0	
ロシア	2005年	69	(4)	(65)	27	4	0	
	2004年	74	(10)	(64)	23	1	1	
中国	2005年	50	(6)	(44)	39	10	1	
	2004年	46	(5)	(41)	43	11	0	
北朝鮮	2005年	9	(1)	(8)	23	66	2	
	2004年	9	(1)	(8)	29	61	1	

(注) この設問は2004年より実施。